

「コミュニケーションのためのライティング指導」 生徒同士のコミュニケーションのためにライティングをどう活用するか

静岡大学教育学部英語教育講座 三浦 孝

テーマ解説

従来、ライティングは既習文法事項の定着を確認するためにもっぱら用いられてきた。これも一つの指導法として否定はできないが、こうした添削は教師にとって煩雑しかも効果薄いものであるために、教師は次第に生徒に英作文を課すのがおっくうになる。また生徒も、せっかく苦労して書いた英作文に、これでもかこれでもかと赤を入れられ、「いったい何度注意したらわかるんだ！」という非難ばかりをもらうならば、書くことが苦痛と自信喪失でしかなくなってゆく。

今回取り上げるのは、そういったライティングではなく、言葉本来の目的に立ち帰り、教室で生徒同士がお互いをより良く理解し友好的関係を築くために英文を書く活動である。こうしたライティングは、学問の根本である「学ぶ楽しさ・学んだことを使う楽しさ」を英語授業に実現し、教師が生徒の作文に肩肘張らずにコメントする余裕を与えるものである。

1. Writing を指示する時の原則

(1) 「どういう相手に向けて」「何のために」書くかを明確に設定しよう。

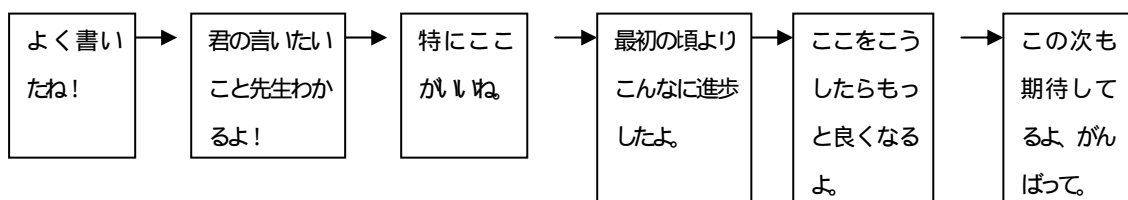
「あなたの家から学校までの道案内を英文で書きなさい」

「日本に着任したばかりの ALT の先生が、学校からあなたの家まで行き着けるように、英文で道案内を書きなさい。ただし地図は用いないこと」

(2) まずは意味と分量優先で monitor-free で書き、そのあとで構成と文法に注意して練りあげよう。

2 . 作品への教師フィードバックの原則

(1) 教師フィードバックの原則



(2) ライティングを課す目的に応じて、教師フィードバックを使い分ける

文法エラー矯正のためのライティング



文法矯正目的の教師フィードバック

- a) エラー指摘は目標文法事項 + 2 ~ 3 項目に留める (それ以上指摘しても直らない)。
- b) 教師がエラーを修正するか、それともエラー箇所の指摘にとどめるかの選択
- c) たとえこの目的の時でも、メッセージ内容に読者として暖かく反応することが望ましい。

メッセージ伝達のためのライティング



伝達力養成目的の教師フィードバック

- 教師はメッセージに対して、一読者としてコメントすべし。
- a) 内容へのコメントは中立的受容的であれ。
"So you think the president is right."
× "I don't agree with you. The president is absolutely wrong."
 - b) メッセージを「より良く理解したい」動機からの、構成・文法的アドバイスも、適度ならば可。
「ここは地名を挙げて具体的に書くと説得力が増すよ」「あれ、冒頭文では逆のことを書いていないかな？」

3. 相互交流的ライティング活動の各種

(平常の授業に取り入れやすいもので、準備や添削が容易なもの)

(1) **英借文** : 既習レッスンのキーセンテンスを応用して作文し、提出する。(所要時間 4 分程度)

(2) **紙上ダイアローグ** : 隣り合った生徒同士が、用紙を往復して対話を作成してゆく。

(3) **教科書の登場人物に手紙を書く** :

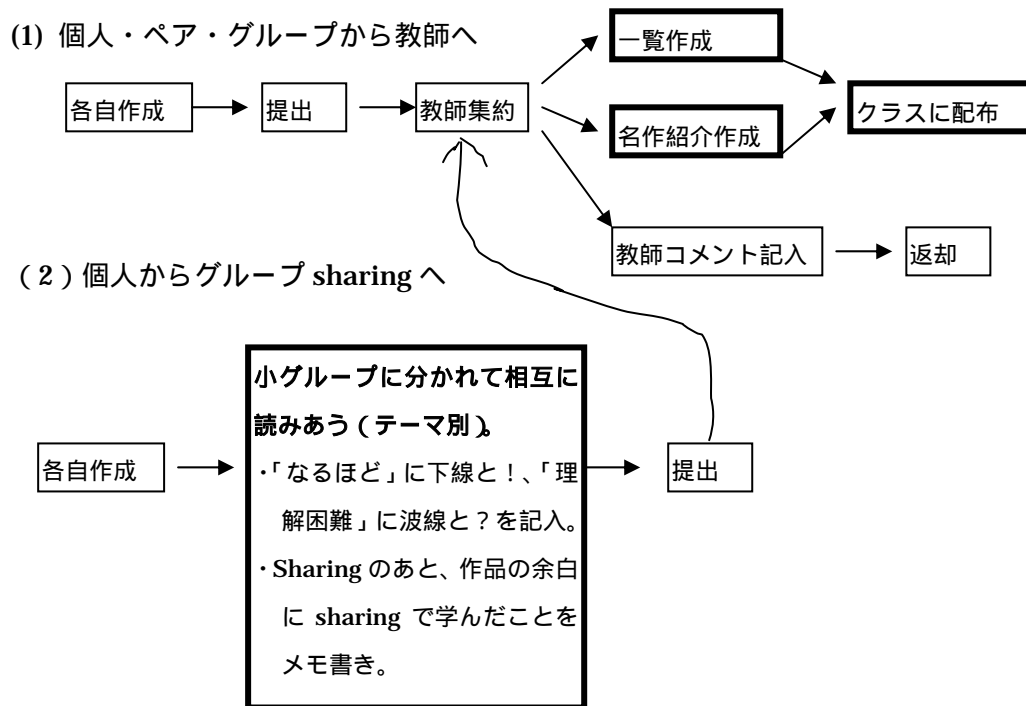
(4) **Movie/Book Review** : クラスメートに宛てて、最近見た映画や読んだ本について、感想を書き送る。

(5) **チェインレター** : 生徒に身近な話題で (教科書に出てきた話題など)、列ごとに紙上ディベートする。

(6) **リレーノート**：生徒に身近な話題で、放課後に班で英文リレーノートを回し、1 周することにより教師に提出する。

(7) **テーマ作文**：“My Silly Mistake”, “Heart-warming Stories”, “Horrifying Stories”, “Big Lies”, 「なりきり作文」など、あまり深刻ばらず、プライバシーに深入りせず、生徒各人の uniqueness が発揮できるテーマが望ましい。

4 . 書いたあとどう交流(share)するか



4 . 生徒同士のライティング・コミュニケーションは何の役に立つか

(1) 英語という新 channel で、生徒同士がお互いの考え方・感じ方・好き嫌い・願望などをよりよくわかりあえるようになる。話し・書く内実のある英語力

(2) 人前で話すタスクは恐怖を伴うが、書くタスクは安全に hypothesis testing (仮説検証) を可能にする。

(3) 40 人の一斉授業でも、教師は個々の生徒の活動状況が容易に把握できる。

(4) スペリングと語順の学習の強化となる。

(5) Sharing により、生徒作品が reading 活動の題材ともなる。(meaningful i+1 のインプット)

(6) 明確な家庭学習の指示となる。

(7) 話し言葉とちがって、作品の保存が容易である。

5 . 評価の観点：

(1) 教室に多元的価値が認められるように

多元的価値観の例

form (文法的正確さの出来)

content (内容的豊かさの出来)

presentation (発表の素晴らしさ・呈示の工夫の出来)

volume (分量の多さの出来)

artistic quality (芸術性)

individuality/ uniqueness (個性・独創性)

(2) Creative なものへの評価の方法：到達度評価 (資料 参照)

引用文献

三浦 孝 (1992) 『英語コミュニケーション授業の実際』 第一学習社

樋口忠彦 (1995) 『個性・創造性を引き出す英語授業』 研究社

三浦・弘山・中嶋 (2002) 『だから英語は教育なんだ』 研究社

資料 Creative な英作文の到達度評価の例 (大学 2 年対象自由英作文の場合)

氏名 _____

1. Paragraph Organization (パラグラフ構成)

段落構成上、問題点が多く、論述を大きく妨げている。

段落構成上、問題がかなりあり、論述を妨げている。

ほぼ良い段落構成だが、下記の 1 点で問題あり。

1. タイトル
2. 段落区切り方
3. 段落内構成

(1 paragraph 1 idea)
(topic sentence+support)

4. 段落間構成

意味のまとまりごとに正しく段落切りされている。

2. Logic and clarity (論理と明快さ)

論理立てて論述されているとは言えない。

大体良いが、以下のどれか 2 点で問題がある。

1. テーマへの関連不足
2. 1 テーマに集中していない
3. support の不足または不成立

大体良いが、以下のどれか 1 点で問題がある。

1. テーマへの関連不足
2. 1 テーマに集中していない
3. support の不足または不成立

与えられたテーマに即し、1 つのテーマに集中して掘り下げ、主張とその support がしっかりと述べられている。

3. Presentation (書体)

文字や行の書き方が乱雑で、清書としてふさ

文字や行の書き方がやや乱雑である。

文字や行の書き方が整然として美しい。

4. Accuracy (英文の正確さ)

意味不明の箇所や、文法的過ちが多く、理解を大きく損なっている。

(2 点)

意味不明の箇所や、文法的過ちがかなりあり、読者が推測しなければならない。

(3 点)

英文に過ちは多少あるが、読者に意味は伝わる。

(5 点)

読者に意味は伝わるが、英文として完全とはいえない。

(7 点)

英文として完全である。

(10 点)

5. Content (内容の豊かさ)

内容的に乏しい。

まとまった内容はあ
るが、読者に訴える力が
十分とはいえない。

(3 点)

平均的な論述である。

(4 点)

他人にとって読む価
値がある、かなり
豊かな内容である。

新聞や雑誌に掲載して
読むに値するほど、非常
に豊かな内容である。

規定語数不足

語数未記入

- 2

綴じ不良
行間狭い

- 2

提出遅れ

- 3

最終得点 _____ 点 (30 点満点)